



それから、イエスは、すべての町や村を巡って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、あらゆる病気、あらゆるわずらいをいやされた。また、群衆を見て、羊飼いのない羊のように弱り果てて倒れている彼らをかわいそうに思われた。そのとき、弟子たちに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。」

マタイ9章35節～38節

# CFNJ NEWS

クライストフォーザネーションズ・ジャパン聖書学院 2011.4-6月号 No.142

# 「ラストチャンス！」

## 「危機の時代に於ける学院の使命」

CFNJ 聖書学院 理事長 ロドルフォ・ガルサ師

それから、イエスは、すべての町や村を巡って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、あらゆる病氣、あらゆるわずらいをいやされた。また、群衆を見て、羊飼いのない羊のように弱り果てて倒れている彼らをかawaiiそうに思われた。そのとき、弟子たちに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。」

マタイ9章35章～38節



### 東日本大震災の5つの波

■最近の東北大地震と津波は全世界に私たちがラストチャンスの時代に生きている事を告げるものでした！ほんの数分の内に2万8000人以上の方が行方不明や亡くなられ、何千人もの家の家が破壊され、仕事が失われ、東北関東を中心に日本社会全体に広がる癒しがたい悲惨な状況が続いています。この大地震で、五つの大きな波が日本に襲いかかりました。マグニチュード9.0の大地震、時速800km、高さ20m近い大津波、日本国内外に広がる放射能被害やそれに伴う風評被害。日経平均株価を28%ダウンさせる経済的な震動、そして、東京や他の町々に続く大規模な停電、それに伴う、人々を恐れさせるパニックの波です。まちがいなく、私たちはラストチャンスの時にいます。

■最近妻と共に、モンタナ州ヘレナで開かれた宣教師カンファレンスに出席しました。会場となった教会の名前は「ラストチャンスチャペル」この名前に心打たれました。緊急に何かをしなければ、恐ろしい事が起こるといった感覚に捕らわれる、この名前に心を動かされました。実はこの名前は18世紀に金を探しに来た探検家から付けられた名前なのです。何日も空しく金を探して疲れ果ててしまったある日、探検家の一人が相棒に言いました。これが「ラストチャンスだ！これで金が見つからなければ我々は帰らなければならない！」そこで最後の金探しをした時に、大きな金脈を発見したのです！最後のチャンスだったので、彼らはベストを尽くし、宝を発見したのです。

同じようにCFNJ 聖書学院では、神様に仕える召命を与えられている人、十字架を取り上げて喜んでイエス様に従って行く人、聖霊に満たされて捕らわれ人を解放することを願っている人を探しています。私たちは今、「ラストチャンス」の時代に生きています！！

マタイ9章35節・38節でイエス様が7つの重要な事を行い、語っておられます。

### 1. イエス様はすべての町や村を巡った。

■イエス様は、これが彼らの最後のチャンスだということを知りながら町や村を巡り、魂の救いやいやしの必要のある人の所へ歩き、ラクダやロバ、又、馬に乗って向かいました。そして人々に福音を告げ知らせたのです。今日人間には絶望的なほどの必要があります！でもイエス様を止めるものは何もありません！すべての人を愛し、最後まですべての人に仕えました。

■ロシア極東のカムチャツカに住んでいる私の友達の宣教師は、犬ぞりを使って1000キロ旅をします。それは、コリアック族という人々に手を差し伸べて福音を伝えるためです。この人々はどこから行っても遠い、北の果てにいる人々です。ただそこに必要のある人々がいるから行くのです。今彼らにはラストチャンスが与えられています。

CFNJ 聖書学院には、必要のある人がいる所であればどこへでも行くように、すべての学生に教える召命が与えられています。

### 2. イエス様は会堂で教え、みことばを宣べ伝えた。

■ネブカデネザル王がイスラエルを侵略した時、多くのユダヤ人は奴隷や囚人としてバビロンに連行されました。この時ユダヤ人は主の宮のあるエルサレムから遠く離れていたために、会堂(シナゴグ)というものができました。これは神のみことばを聞き、神を礼拝するための場所です。今日クリスチャンも同じ考え方に基づいて、交わりをし、神様を礼拝し、ふさわ

しいお方に歌を歌い、神様の尊いみことばを学ぶために集まります。

CFNJ 聖書学院では、毎朝、学生とスタッフがメインホールに集まり、主を礼拝します。毎日の授業は神のみことばに基づいて教えられ、すべての生徒は聖霊様と交わる機会が与えられます。霊とまことを持って主を礼拝する者を聖霊様は常に油注ぎ、新鮮さを与えてくださいます。

### 3. イエス様は御国の福音を教えた。

■イエス様は人々に、神様はご自分が王として治めておられるすばらしい国の王であり、その国には暗やみや恐れがなく、そこは光といのちと自由の国であるという「福音」を伝えました。状況はどうあれ、神様の国は悪がはびこることのできない力強い国であり、イエス様はすべての人をこの国の一員になるように招いておられます。想像してみてください。罪の中に失われた人、あるいは、貧しい女性、あるいは、孤児が福音を聞く時のことを。彼らは王や祭司として召されており、信仰とイエス様の血潮により神の国に属することができるという福音を聞く時のことを。捕らわれ人が解放されるのを見ることはなんとすばらしい喜びでしょうか！神の国はことばにはなく、力にあるのです。

これがCFNJ 聖書学院のコミットメントです。すべての生徒に、出て行って聖霊の力によって御国の福音を宣べ伝える事を教えます。

### 4. イエス様は人々のすべての病氣とすべてのわずらいをいやされた。

■「あらゆる」病氣、「あらゆる」わずらいとは、すべてという意味です！イエス様は何と驚くべき力を持っておられたでしょうか。また今も持っておられるのでしょうか。今日、もし私達がイエス様を信じれば、なんと驚くべき祝福を受けるでしょうか。それはこれらの現れが、主の栄光のために私たちを通して働くからです！

CFNJ 聖書学院では、すべての生徒に御霊の流れに従うことと、主の召しを成し遂げるために主がご自分の子供たちに与えている賜物を用いることを教えます。主はご自分の弟子たちを、しるしと不思議をもって後押ししてくださいませ。

### 5. イエス様は群衆を見てかawaiiそうに思われた。

■誰かが言いました。「あわれみは私たちのエゴを殺す！」と。私たちはクリスチャンとしてこのあわれみを生かしておかな

ければなりません！！失われた人、必要のある人、飢えた人を見る時私たちの心はあわれみを感じます。私たちの心の中にある主の心です。あわれみこそ私たちと世の中の人たちとを区別するものです！私たちはたくさん与えられているが、何百万という人たちが何もないことを覚えます。人々は愛、上から来る愛、十字架から来る愛を必要としています。人々はイエス様を必要としています！

CFNJ 聖書学院では、できるだけ手を差し伸べて、他の人々を祝福しようと努めています。私達は手を差し伸べて、人々があわれみに満ちた天のお父様の心を受け取ることができるようにします。毎年学生は世界の中で必要のある所に行きます。

### 6. 群衆は羊飼いのいない羊のように弱り果てて倒れている。

■人間が苦しんでいることは確かです。現在地球上には65億以上の方がおり、大半の人は忘れられ失われています。クリスチャンの多くは救われた事を喜んでいますが、献身を理解しているクリスチャンは少なく、イエス様を知らずに死に直面している人のために、すべてをささげようとするクリスチャンは少ないのです。

主に仕えるように召されている人は、CFNJ 聖書学院が、ビジョンを見つける場所、自分の奉仕を発展させる事のできる場所であることを見いだす事が出来ます。覚醒が起こり、心は聖霊の炎で再び燃やされ、主の導かれる所へと進みます。

### 7. イエス様は言いました。「収穫の主、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい！」

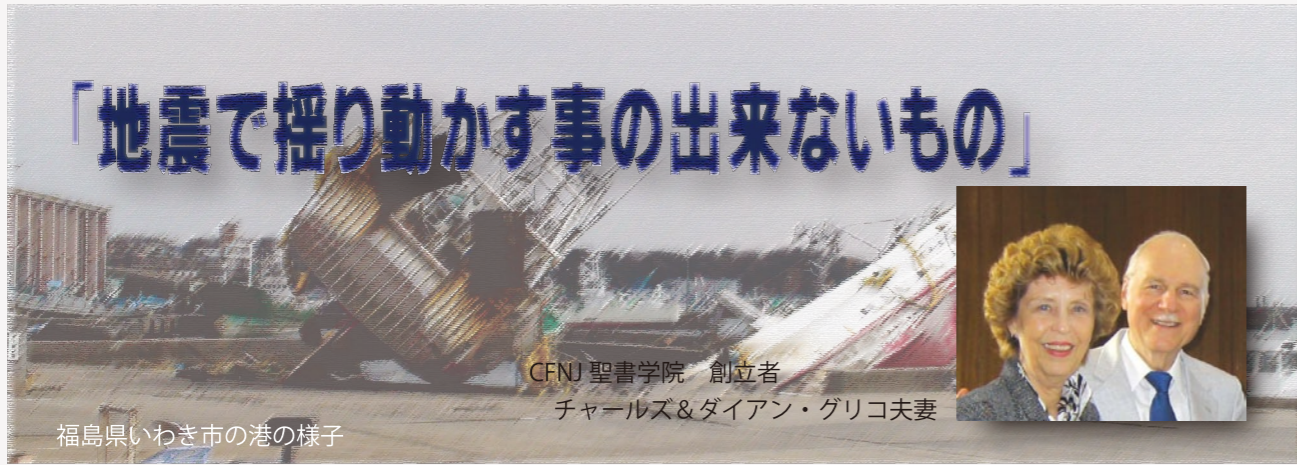
■このメッセージを読みながら私たちは次のように叫び祈っています。

●主よ！あなたに飢え渴いている人々、あなたに仕えたい人々の心に触れてください！

●主よ！大きな必要を見ます。何百万に次ぐ何百万もの人々が旅のためのコンパスもなく、大きな危険にさらされています。狼たちは吠えており、遠くないところから尊いたましいを狙っています。

●主よ！新しい世代の学生を起こしてください。あなたの御声を聞いて、みことばの訓練を受け、真理に飢え渴いている国々に霊的食物を持って行くことができますように。

●主よ！あなたの教会を目覚めさせ、あなたのいのちの種を蒔くために、私たちが世界の国々に多くの働き手を送ることができますように。イエス様の力強い御名によって祈ります。アーメン。■



■3月11日に起きた「東日本大震災」でのあまりにも悲しい出来事に心が痛みます。この地震と津波で多くの方が亡くなられ、又、現在も避難生活や非常な困難の中にあることを思い、世界の人々と共に一日でも早い復興と被災された方々が悲しみに打ち勝ち、希望を持って立ち上がる事ができますよう心よりお祈りしております。

この日本での大地震と津波は、全世界の多くの人々に忘れかけていた強烈なメッセージを発信しました。そのメッセージとは、体を含めるこの世のすべての物質的なものは一時的なものであり、いつか過ぎ去るものであるということです。しかし、又、忘れてはならないことは、この世には「揺り動かすことのできないもの」もあるという事実です。これは私たちの信仰のような、「霊的な現実」や、「永遠のたましい」や、「霊」のことです。

地震や苦難の中にあっても、神を信じている者は、悲しみや喪失を体験しても「揺り動かされない」でいる事ができます。この真理は、旧・新約聖書にも明らかに示されています。

■旧約聖書で神は仰せられました。  
「まことに、万軍の主はこう仰せられる。しばらくして、もう一度、わたしは天と地と、海と陸とを揺り動かす。わたしは、すべての国々を揺り動かす。すべての国々の宝物（イエス様）がもたらされ、わたしはこの宮を栄光で満たす。万軍の主は仰せられる。この宮のこれから後の栄光は、先のものよりまさろう。万軍の主は仰せられる。わたしはまた、この所に平和を与える。一万軍の主の御告げー」（ハガイ2章6節・7節・9節）

■新約聖書において神は物事が揺り動かされるということを仰せられています。  
「…決して揺り動かされることのないものがあるために、すべての造られた、揺り動かされるものが取り除かれることを示しています。こういうわけで、私たちは揺り動かされない御国を受けているのですから、感謝しようで

はありませんか。こうして私たちは、慎みと恐れとをもって、神に喜ばれるように奉仕をすることができるのです。私たちの神は焼き尽くす火です。」（ヘブル12章7節〜29節）このメッセージは今日の私たちのためのものです。

### 地震は聖書の時代にもメッセージを伴っていました。

■イエス様が十字架にかかられた時に地震が起きました。「すると、見よ。神殿の幕が上から下まで真っ二つに裂けた。そして、地が揺れ動き、岩が裂けた。」（マタイ27章51節）地震とそれによる出来事は、人間にとって厳粛で悲しいことですが、天の父なる神様は、これを用いて、すべての人のために、神の臨在への道を開くしるしとしました。地震によって神殿の幕が開かれたという事は人間にとって、勝利の瞬間である事を示したのです！

■パウロとシラスが福音を伝えた事によってむち打たれ、牢獄に入れられた時に地震が起きました。  
彼らは牢獄の中で苦しんでいたのですが、神を賛美していました。そしてその歌声に他の囚人たちが聞き入っていました。その時地震が起り、囚人を縛っていた鎖が解かれ、牢獄の扉が開かれたのです！（使徒16章26節）  
神はご自分が、鉄の鎖や人間の作るものよりも力がある事を示しておられました！ また福音を伝えることにおいて従順であり、困難な状況の中でも、ご自分を賛美するパウロとシラスを喜んでいるということをお示しになりました！ 私たちの上にもパウロとシラスに起こったような同じ御業が起ると信じましょう！  
「私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。」（1ペテロ5章4節）



福島県いわき市の震災後の様子

## CFNJ聖書学院 卒業・修了式



■去る3月4日（金）、学院では顧問であり、新宿シャローム教会牧師の稲福エルマ師をゲストにお招きして、卒業・修了式が行われました。今回は2名の2年卒業生と、3名の1年修了生が、学院を巣立っていきました。「収穫は多いが働き人が足りない」との主の仰せに答えるべく歩み出す、ひとりひとりの歩みの為に、これからもお祈りを願います。

■愛するイエス様感謝します！今日まで僕を守り、導き、素晴らしい一人ひとりと出合わせ、また困難だと思えるような時でも、イエス様あなたは一時も離れず、いつも一緒にいてくれました。もう、あなたしか見えません！ CFNJ 聖書学院に導いて下さって本当に感謝します！愛するイエス様の御名によって祈ります。  
アーメン！



須藤 大地  
（北海道 森町）

■1年間という短い期間でしたが、本当に尊い時間を神様から頂きました。素晴らしい友達との出会い、学院の先生方の励まし、牧会経験豊かな先生方の貴重な学びと情熱あるお話、奉仕教会で受けた愛など、様々なプレゼントを頂き感謝しています。何より学びを終える事ができたのは多くの人達の支えがあったからです。ありがとうございました！



永田 みゆき  
（大阪）

■CFNJ 聖書学院で過ごした1年間、本当にありがとうございました。CFNJ 聖書学院は私にとって特別な経験をした場所でした。私が韓国から来た外人にもかわからずみんなが暖かい心で迎えてくださり、自分の体のように私のことを愛してくださりありがとうございました。ここでいただいた愛を持って私も日本のためにもっと熱心に主の愛を伝えようと思っています。今まで私を応援してくださったお一人一人の上に祝福がありますように。特に学院長の鍛治川先生、紀子先生、又、スタッフの方、そして1年間一緒に勉強したクラスメートのみんな、本当にありがとうございました。



金 旻成（韓国）

■CFNJ での一年間はアツという間でしたが、内容の濃い一年でした。私が見ていなかった領域をイエス様は教えて下さいました。イエス様の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを知ることが喜びでした。また、学院や教会で多くの素晴らしい出会いが与えられたことにも主に心から感謝します！北海道で出会った神の家族を私は忘れません！



田中亜衣  
（大阪）

■ハレルヤ！素晴らしい2年間を主に感謝します。多くの方にお世話になり、多くの方に祈り支えられました。ありがとうございました。『ただひとり、大いなる不思議を行われる方に。その恵みはとこしえまで。』



服部 秀男  
（北海道 北広島市）



■午後の祝会の中でのドラマ「ダビデ王の生涯」上演の様子。



証し

坂本一家の写真  
(中央が坂本兄弟)

# 震災直後、避難家族が全員イエス様を信じる！

3月11日に起こった東日本大震災で、在校生の坂本兄弟の家族が学院に避難してこられました。その際、皆がイエスキリストを救い主と告白し、震災直後の混乱の中、主の不思議な導きの中で北海道に来ることが出来ました。以下は「クリスチャン新聞」に掲載された記事です。

■福島第一原子力発電所の事故により、避難や屋内待避を余儀なくされた人々が多くいる中で、各地の施設が被災者の緊急避難先として名乗りを上げ始めている。北海道石狩市にあるCFNJ聖書学院(鍛冶川利文学院長)でも16日現在、ひとまずの滞在先として被災者が複数人身を寄せているが、その中で信仰をもった人がいるとのニュースが飛び込んできた。

■同学院へ避難してきたのは、福島県いわき市からの10人。うち8人が、神学生の坂本清憲さんの家族だ。地震発生時、坂本さんの実家は守られたが、義姉の理容室がひざ上浸水になり、店内はぐちゃぐちゃになった。水や食料、灯油、ガソリンが乏しい中、新たに放射線の心配も出てきた。坂本さんはいても立ってもいられず、実家に電話をかけ避難するよう伝えた。「最初は『避難なんて』と話を聞いてくれなかったんですが、状況が悪化していくにつれて、『息子の言うことを聞いておけばよかった』と後悔し始めたそうです。坂本さんはもう一度電話をかけ、「自分を信じて北海道へ来てほしい、イエス様を受け入れてほしい」と伝えた。「すると家族全員が『イエス様を信じる』と言って、イエス様を受け入れた。以前から家族へ伝道はしていましたが、父は昨年末に信仰をもっていったんです。でもこのとき、家族がイエス様を受け入れてくれて、電話越しに罪の悔い改めと信仰告白をしました」後日、坂本さんは、依然「避難はしない、家を出ない」と言い続ける実家に再度電話をした。しかし誰も出ない。「おかしいなと思って携帯にかけると、『もう家を出て避難を始めている』と。驚きました。だけど、その中で神様の不思議な導きを感じたというんです」ガソリンが乏しく、飲み物などもない中で出発したという坂本さんの家族は、まったく知らない人から食料や毛布をもらったり、道案内を受けたという。避難所で一夜を過ごした後は、突然不通だった新幹線が開通。近くの駅から乗車し15日午前には東京、そして羽田空港へ。ないと思われたチケットも「奇跡的に」取れ、その日の夜、同学院に到着した。「対面したときは、精神的に張り詰めていたものや不安などがあつたんだと思います。涙を流していました。この避難で本当に神様の存在を感じたらしく、着いた早々『イエス様は本当にいる』と。今は、神学校の全面的な受け入れの中にあり、本当に感謝しています」と坂本さんは言う。家族は洗礼の学びをしたいと願っているといい、20日の礼拝には一緒に礼拝に出席する予定だ。「神学校には、物資や、金銭的な問題で避難ができない人たちなどのために、献金が集まっています。いわき市の母教会のメンバーが被災地にて奉仕を続けている方もおられるので、守られるようにお祈りいただければ。このようなときですが、神様が日本に何かを起こそうとしておられるように感じます」と語った。(クリスチャン新聞3月27日号からの転載)

震災後のいわき市内



# 新年度1学期 (4月11日~7月1日迄)のゲストスピーカーと授業課目のご案内

4月 4月11日(月)~15日(金)  
●11日は入学式

2011年度1学期 授業カリキュラムスケジュール  
(2011年4月11日(月)~7月1日(金)迄)  
1・2年コース(必修科目) (敬称略)



ロドルフォ・ガルサ師

■学院理事長、メキシコ アミスタ・デ・モントレ牧師、エピセントロ聖書学院院長、札幌クリスチャングループ創設者。入学式の週のごゲスト。

●全体授業/1・2時間目(8時45分~10時55分までの毎日2時間)



竹内 宣雄師

■ラブ・アジア・ミッション代表、宣教師。1961年大阪生まれ。1991年香港・中国に派遣され、北京語、広東語、日本語で教会を開拓牧会する。2006年帰国後、中国内では弟子育成、日本では在日中国人留学生への伝道に従事。各地で報告会を開く。

4月25日(月)・26日(火)

●全体授業/1・2時間目(8時45分~10時55分までの毎日2時間)

ゲストスピーカーの授業は聴講無料です。  
(席上献金があります)

	月	火	水	木	金
1 AM8:45~9:45	旧約聖書概論I 田中 信矢	世界教会史I 鍛冶川利文	信仰の土台 G・グドール	使徒の働き 田中 博	日本人の生活と聖書 松原 望
2 AM10:00~10:55	旧約聖書概論I 田中 信矢	世界教会史I 鍛冶川利文	信仰の土台 G・グドール	使徒の働き 田中 博	日本人の生活と聖書 松原 望
3 AM11:05~12:00	約束の地を所有せよI 三浦 雅範	真の礼拝者 鍛冶川紀子	児童伝道 内越 努	約束の地を所有せよI 三浦 雅範	イエスキリストの生涯 J・ジャンセン

アルプスコース(必修科目)

1 AM8:45~9:45	宣教と開拓伝道 R・グドール	教会カウンセリングI 小栗 昭夫	教会と伝道 西森 昌二	ヨブ記 石田 吉男	霊的戦い 岡田 好弘
2 AM10:00~10:55	宣教と開拓伝道 R・グドール	教会カウンセリングI 小栗 昭夫	教会と伝道 西森 昌二	ヨブ記 石田 吉男	霊的戦い 岡田 好弘
3 AM11:05~12:00	近郊の牧師	真の礼拝者 鍛冶川紀子	児童伝道 内越 努	聖書釈義I 松原 望	聖書釈義I 松原 望

選択科目

午後 PM13:00~15:00	ピアノクラス 外山 妃美子	英語クラス G・グドール	ドラムクラス 田中 満矢 ゴスペルダンスクラス スーザン・藤井	実習	ドラマ演劇クラス 鍛冶川紀子
---------------------	------------------	-----------------	--	----	-------------------

予告 この夏、インターナショナルスクールが開講します! CFNJ-ISM

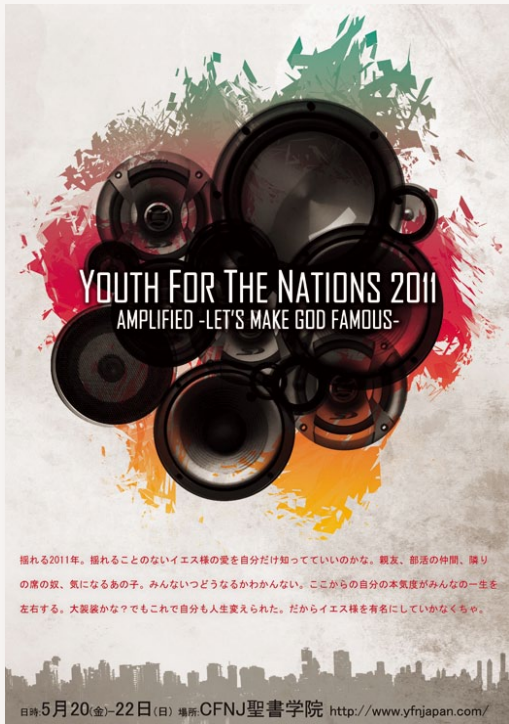
## CFNJ インターナショナル・スクール・オブ・ミッションズ International School of Missions

- 日程/2011年7月11日~8月26日
- 費用/144,000円(学費、宿泊費、平日の食費含む)
- 講義内容/世界宣教の展望(Perspectives on World Christian Movement)・クリスチャン家庭・礼拝・倫理と品性・教会開拓・弟子作り・新しいぶどう酒のための新しい皮袋(古い習慣と文化の中で神のために新しい事をする)・キリストのためのメディア
- 講師/ジョン・キャスカート師他 ※講義はすべて英語を中心に行われ、日本語への通訳があります。講義終了後、希望者で震災地への一週間の宣教旅行を行います。
- 校長/ジョン&グロリア・キャスカート

(ウェブサイト <http://cfnjism.wordpress.com/> (英語) 詳しくは、学院事務局にご連絡ください。) ジョン&グロリア・キャスカート夫妻

詳しくは  
学院事務局まで  
お問い合わせください。





第15回 ユース・フォー・ザ・ネイションズ

YFN



■揺れる 2011年。揺れることのないイエス様の愛を自分だけ知ってていいのかな？ 親友、部活の仲間、隣の席のあの奴、気になるあの子！ みんないつどうなるかわかんない！ ここから自分の本気度がみんなの一生を左右する！ 大袈裟かな？ でもこれで自分も人生変えられた。だからイエス様を有名にしていかなくちや。あなたの参加を待ってます！

■日程 / 5.20 fri. → 5.22 sun. (16時からライブあり)

■会場 / CFNJ 聖書学院

■テーマ / 「Amplified - Let's make God known」

■テーマ聖句 / 「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりとやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。」(2テモテ4:2)

■ゲスト / ジャレッド・ブライアント師・CFNIチーム・ナイトdeライト

■YFNのウェブサイトは / <http://www.yfnjapan.com/>

※参加申込書はWEBサイトからもダウンロード出来ます。



■GUEST  
ジャレッド・ブライアント

■17歳の時にユース・ミニストリーへの召しを受ける。その後、米国テキサス州の二つの教会で仕え、CFNIを卒業。現在、アダム・マッケイン師によって創設されたグローバル・ユース・

ネットの責任者。妻のセラさんと共に米国内外でユースリーダーを訓練育てている。学生チームを海外アウトリーチに導き、幾つかのユース・ミニストリーを開拓、援助している。ジョークの大好きな型破りな奴。日本大好き男。今年で来日5回目、今回はCFNIチームと共に。

ナイトdeライト

■2006年結成。心地良いメロディーと心に響く歌詞、アットホームな雰囲気でも楽しめるステージングが魅力的な北海道の4人組バンド。2009年12月には初の3曲入りシングル、「It's OK!!」をリリースし、ゴスペルアーティストとしては異例の、1年間で2000枚以上の売り上げを記録する。2011年2月にはSTVラジオ「スーパーヒットチャートなまらん」の勝ち抜き！アンビシャスバトル！で三週連続勝ち抜きチャンプとなる。札幌のみならず関東、関西でも積極的にツアー活動を行っている。

<http://www.night-de-light.com>

■YFN Schedule

1日目(5/20金)	2日目(5/21土)	3日目(5/22日)
 CFNI チーム	7:30 朝食 8:30 スモールグループ別 ディナー 9:30~ 集会② 11:30 リーダーズセミナー 12:00 昼食 14:00~ レクリエーション 16:00	7:00 朝食 7:30 掃除 解散(各教会へ)
18:00 受付 19:00 集会① スモールグループ 21:30~ 入浴・就寝 23:00	17:30 夕食 18:30~ 集会③ スモールグループ 21:00~ 入浴・就寝 23:00	 16:00 ~ Live伝道 「With Night de Light」 18:00



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネイションズ日本校

CFNJ 聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157  
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP:[www.cfnj.com](http://www.cfnj.com) 郵便振替:02780-4-4688  
●e-mail:[office@cfnj.com](mailto:office@cfnj.com) 学院長/鍛冶川利文

